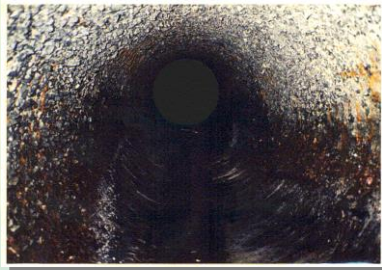


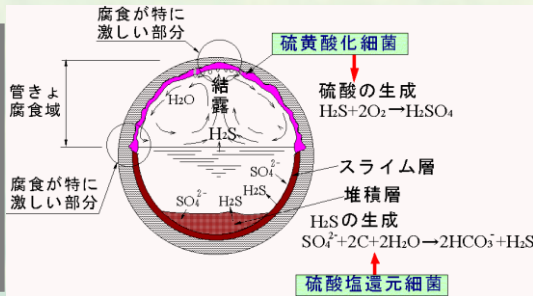
下水道管きよでの硫化水素問題でお困りではないですか

管きよ内で発生した硫化水素により、下水道施設の腐食や悪臭問題が生じることがあります。また供用開始から数年でコンクリート施設が腐食するといった事例も見受けられます。時間が経過すればそれだけ腐食が進行する可能性が高く、速やかに対策を講じることが何より大切です。

腐食事例



腐食した鉄筋コンクリート管



硫化水素発生メカニズム

解決事例

M県の下水圧送管(呼び径350mm×管路長3500m)で空気注入手法を適用した実証実験を行いました。硫化水素抑制効果を確認し、必要空気注入量を明らかにしました。

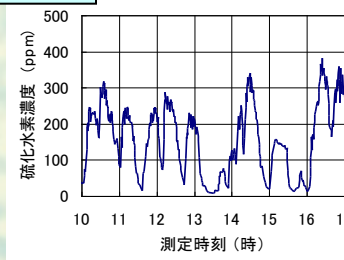


空気注入設備

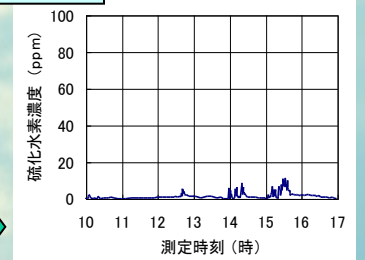


水質測定状況

注入前



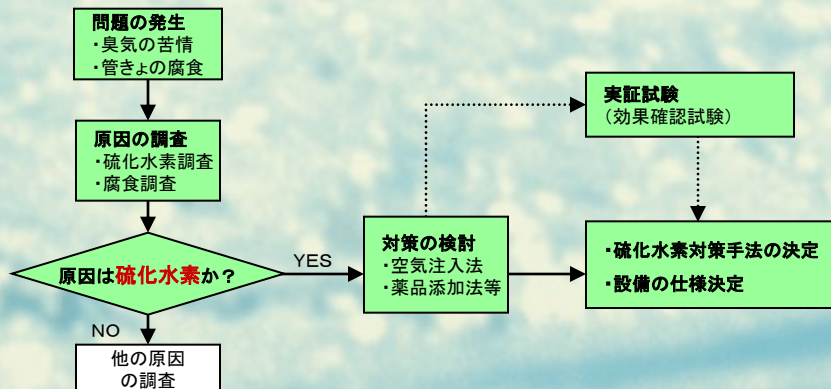
注入後



抑制効果の確認

解決手順

圧送研では、各研究機関や事業者と共同で、硫化水素問題の研究に取り組んで参りました。そのノウハウをもとに、硫化水素問題を解決するための計画立案をお手伝いいたします。



下水道圧送管路研究会

〒104-8307
東京都中央区京橋2-1-3
株式会社クボタ内
TEL 03-3245-3096 FAX03-3245-3830
URL <http://www.assouken.gr.jp>

<会員企業>
(株)クボタ
(株)栗本鉄工所
日本鑄鉄管(株)
興和ゴム工業(株)